

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 尿路上皮癌の診断治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学病院泌尿器科に 2000 年 1 月~2022 年 3 月の間に尿路上皮癌(腎盂・尿管・膀胱癌)の診断にて受診した患者さんが対象です。 現時点では総数 1000 名と想定されています</p> <p>●研究の目的 泌尿器悪性腫瘍においては、前立腺がんの治療と比べ尿路上皮癌(腎盂・尿管癌、膀胱癌)、の進行・再発例における全身化学療法においてはその治療法の進歩はこれまで乏しいものでした。近年免疫チェックポイント阻害薬が臨床応用されていますが、これらの進歩をもってしてもなお、進行尿路上皮癌の薬物療法による根治例は多くないのが現状です。 また、より低侵襲な治療として、腹腔鏡下手術・さらにはロボット支援手術(いわゆるダビンチ手術)が導入され、当科においても 2014 年 8 月より腹腔鏡下膀胱全摘除術、ついで 2017 年 1 月よりロボット支援全摘が開始されていますが、最大の問題はこれら局所進行性・転移性尿路上皮癌の診断治療において、実臨床に用いられる血清マーカーはなく、尿中マーカーは近年開発されているとはいえいまだ尿細胞診に依存することであるといえます。今回の目的は、尿路上皮癌診療の疑問解決への助けとなる実臨床データ解析のため、当院における尿路上皮癌の診断治療成績と予後解析に関しその背景因子の関連について検討するものです。</p> <p>●研究の期間 倫理委員会承認後より平成 34 年(2022 年) 3 月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
-----------------------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等を診療録より収集いたします</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>●共同研究機関の名称及び研究責任者 該当なし</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>●研究責任者 浜松医科大学 医学部泌尿器科学講座 杉山貴之</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはは Fax でお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：泌尿器科 担当者：杉山貴之 TEL：053-435-2306 FAX：053-435-2305</p>